

# ラーニングテクノロジー開発室 ニュースレター

## ◆ ラーニングテクノロジー活用授業を支援します。 - まずはコース管理システムから

人間の情報行為を支えるテクノロジーが ICT (Information & Communication Technology) であるように、ラーニングテクノロジーは、平常の情報行為の一部としての学習行為を支えるテクノロジーです。その意味で、コース管理システムは典型的なラーニングテクノロジーだと言えます。LT セミナーでご紹介しましたように、本学には WebCT というコース管理システムが導入されています。しかし、使い慣れないシステムをいきなり授業で使用するには戸惑いもあると思います。そこで、ラーニングテクノロジー開発室では以下のような方法で授業の支援を行います。

(1) WebCT 操作支援：研究室などに出向いて、WebCT の操作を支援します。

(2) 教材開発支援：以下のような教材作成支援を行います。

- ・ 教員が作成した教材を WebCT に載せやすいファイルに変換したり、教員のアイデアに基づいてメディア教材を開発します。
- ・ 小テストの問題情報を預かって、WebCT の小テストで使えるように仕上げます。
- ・ 授業録画やビデオ教材作成の補助を行います。

(3) WebCT TA による支援：ラーニングテクノロジー開発室スタッフ、または LT アシスタント(学生補助員)がコースに TA として登録し、支援を行います。

(4) 共同デザイナーによる支援：ラーニングテクノロジー開発室スタッフ、または LT アシスタント(学生補助員)がコースの共同デザイナーとして支援を行います。

詳細については、ラーニングテクノロジー開発室のホームページをご覧ください。

## ◆ 活躍しています！ LT アシスタント

ラーニングテクノロジーを活用した授業を支援するために、院生・学生の方々に LT アシスタントとして、人材登録をしてもらい、上で述べたような支援業務を行っています。沖永佳史学長からの辞令が、12/4 に高橋明夫事務長から、最初の 5 名の LT アシスタントに手渡されました。現在、12 名が LT アシスタントに登録されています。

これまで、LT セミナーの資料作成、LT セミナー補助、CL3 で行われている授業のティーチングアシスタントなどの仕事を行ってきました。LT アシスタントが教材を企画し、作成した例もありました。Flash というソフトを使ったインタラクティブな教材です。そのうちの 1 つは既に授業で利用され、授業を履修している学生にも好評でした。

新年度の授業を準備する時期がやってきましたが、LT アシスタントをぜひご活用ください。

## ◆ LT セミナーに、ぜひ、いらしてください

大学間の競争が増しているため、最近はこの大学でも教育力を向上させる取組みを行っています。これからの大学教員は研究者としても教育者としてもプロフェッショナルでなければなりません。一人一人の教員が教育力を高めるにはどうしたらよいでしょう。ラーニングテクノロジー開発室ではラーニングテクノロジーを活用した授業改善を目指し、そのための知識を教職員の間で共有するために、ラーニングテクノロジーセミナー(LT セミナー)を継続的に開催しています。

LT セミナーは、興味のある回だけの参加もできるように構成しています。ぜひご参加ください。

1月のLTセミナー「これからの情報教育」

1/20(火)16:40~18:10, 1/22(木)15:00~16:30 CL3室

2月のLTセミナー「ステップで作るスマートな教材」

2/17(火)16:40~18:10, 2/19(木)15:00~16:30 CL3室

1月のLTセミナーでは一般情報教育をとりあげます。新年度に情報基礎1、情報基礎2を担当される方は必見です。2月のLTセミナーは名古屋大学 e ラーニングハンドブックを題材に意見交換をしたいと考えています。2月のセミナーに前もって出席のご連絡をいただいた方には、e ラーニングハンドブックを進呈いたします。数に限りがございますので、お早めに申し込みください。

LT 開発室では、LT セミナーで扱ってほしいテーマを募集しています。電子メールにてご連絡ください。

## ◆ 本部棟2号館にLT開発室オープン

既に組織としての「ラーニングテクノロジー開発室」は昨年10月からスタートしていますが、昨年12月に本部棟2号館2階202室に部屋が整備されました。ラーニングテクノロジーを授業に生かすために、授業担当者とラーニングテクノロジー開発室スタッフがディスカッションするためのスペースや教材作成のためのスペースを設けています。お気軽にご来室ください。ただし、ラーニングテクノロジー活用方法や授業改善のご相談は、電子メールなどで事前にご連絡の上、お越しくくださるよう、お願いいたします。

## ◆ ラーニングテクノロジー開発室連絡先

体制： 武井恵雄(室長)、渡辺博芳、高井久美子

所在： 本部棟2号館2F 202室

電話： 内線7243

ホームページ：<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

お問い合わせは出来るだけ、電子メールでお願いします。

一般のお問合せ：LT-Staff@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

サポート：LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp